

愛知発の新しい学び方

「ラーケーションの日」

ラーニング バケーション
Learning (学び) + Vacation (休暇)



愛知県では、未来につながる家庭での主体的な学び・体験的な学びを応援するために、「ラーケーションの日」を設けています。

子供の学び(ラーニング)と、保護者の休暇(バケーション)を組み合わせ、平日だからこそできる学校外での学習活動を、ぜひ子供と一緒に計画してみませんか。

令和7年3月
愛知県教育委員会
江南市教育委員会

ラーケーションの日とは

愛知県全体の「休み方改革」プロジェクトの中で生まれた「ラーケーションの日」は、

子供が保護者等とともに、平日に、校外(家庭や地域)で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる日 です。

校外での自主学習活動であるため、学校に登校しなくても欠席とはならず、「出席停止・忌引等」と同じ扱いとなります。

保護者等の休暇に合わせて届け出をし、年に3日まで取ることができます。

ラーケーションの日 届け出の流れ

- | | |
|-----------|----------------------------------|
| 1 計画を立てる | 子供と一緒に体験や探究の学び・活動を話し合い、計画を立てる。 |
| 2 届 け 出 る | 学校から指定された方法で、期限までに届け出る。 |
| 3 ラーケーション | 子供と一緒に、校外で体験や探究の学び・活動を行う。 |
| 4 振 り 返 る | 学んだことについて子供と話し合ったり、次回の計画を考えたりする。 |

ご留意いただきたいこと

□ 「ラーケーションの日」を取得する場合は、前日までに届け出る必要があります。

ただし、給食を欠食する場合は、次の通りです。

ラーケーション取得日	欠食が可能となる届け出日
月曜日	2週間前の月曜日までの届け出
火曜日	2週間前の火曜日までの届け出
水曜日	2週間前の水曜日までの届け出
木曜日	2週間前の木曜日までの届け出
金曜日	2週間前の金曜日までの届け出

なお、欠食が可能となる届け出日が祝日の場合は、さらに1日前となります。

- 「ラーケーションの日」の取得を認めない期間は、特に設けません。
- 「ラーケーションの日」を取得した日の学習補充は行いません。
- 「ラーケーションの日」の計画や取得後の報告の提出は求めません。

ラーケーションの日 活動のポイント

- ・ 家族で「一緒に過ごす時間」が大切です。
- ・ 「何について学ぶか」を事前に子供と一緒に話し合ってみてください。そこから「ラーケーションの日」は始まります。
- ・ 遠くへ行かなくても、身近な場所にも「学びの種」はあふれています。家族と一緒に活動すると、新たな発見があるかもしれません。

■ 学びのキーワード ■

自然・科学・環境・実験・観察・産業
スポーツ・文化・芸術・歴史・地理・
伝統芸能・国際理解・福祉・SDGs・
見学・創作・鑑賞・キャリア ……

様々な学びを体験できる
ラーケーションスポットを
ポータルサイトで紹介して
います。



再発見！ 地域の史跡を巡ろう

平日は史跡をじっくり
見学したり、ガイドさん
から詳しく話を聞いたり
できます。

地元や近隣にも意外
と史跡はあるものです。



見つけた！ 公園の植物を調べよう

庭や公園で見つけた
植物について親子で一
緒に調べてみましょう。

学びのきっかけは身
近なところにもたくさ
んあるはずです。



収穫の喜び 家族と一緒に農業体験をしよう



私たちが口にしている
野菜は、どんな人の手で育
てられ、どんな風に育っ
ているのでしょうか。

収穫体験や農業体験な
ど、ふだんできないことを
家族で一緒に体験してみ
ましょう。

親子で芸術家！ 様々な表現方法を知ろう



素敵な風景は初めて
訪れる土地だけでなく
自宅から近いところ
にもあふれています。

家族で同じ景色を見な
がら絵をかき、表現の仕
方を比べてみるのもよい
でしょう。

五感を使って 自然と仲良くなろう

景色を味わう、鳥の声を
聴く、空気を感じる…五感
を使って、自然に親しん
でみてはどうでしょう。

観察をとおして生まれる
発見や問いも大切にしたい
ものです。



気分はシェフ 授業で学んだことを生かそう

家庭科や総合的な
学習の授業等で学ん
だことを生かして、実
際につくってみましょ
う。家族だけのオリジ
ナルレシピが完成す
るかもしれません。





Q1 愛知県は、どうして「ラーケーションの日」を作ったのですか。

A1 愛知県「休み方改革」プロジェクトでは、県全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による地域の活性化を目指しており、その一環として「ラーケーションの日」が生まれました。総務省の調べでは、土曜日に働いている方が約45%、日曜日に働いている方が約30%おられ、休みの日に子供と一緒に過ごすことが難しいご家庭が少なくありません。そうしたご家庭でも、平日に、子供と一緒に学び、活動することができるよう、「ラーケーションの日」を作りました。

Q2 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますか。また、残った日数は、次の年に繰り越すことはできますか。

A2 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますが、残った日数を次年度に繰り越すことはできません。

Q3 急きょ休みが取れることになった場合、前日に「ラーケーションの日」を届け出ることはできますか。

A3 前日でも、「ラーケーションの日」を届け出ることは可能ですが、しっかりとした計画を立てて学習活動を行っていただきたいので、早めの届け出をお願いします。

Q4 「ラーケーションの日」に、どこかへ旅行に出かけてもよいのですか。

A4 ラーケーションは、ラーニング(学び)＋休暇(バケーション)ですので、「学び」の要素が必ず必要です。学びの要素があれば、旅行に出かけることもできますが、大切な授業の代わりの活動ですので、家庭でよく話し合っ計画を立ててください。なお、どこかへ出かけなくても、ラーケーションは可能です。

Q5 どのような活動であればラーケーションになるのですか。

A5 ラーケーションは、①保護者と一緒にいる、②体験や探究の学び・活動です。そのため、①②を満たす活動がラーケーションということになります。前ページの「学びのキーワード」や活動例などを参考にして、子供と話し合い、「何を学ぶか」をはっきりさせる必要があります。身近な場所にも、学びの種はたくさんあるはずです。

<お問い合わせ先>

■ 制度全般に関すること	愛知県教育委員会	義務教育課	052-954-6799
■ 届け出等に関すること	江南市教育委員会		0587-54-1111
	江南市立●●学校		0587-●●-●●●●